

「幸せ」な学校をつくりませんか？

令和2年4月13日
校長

教職研修（4月号）を手に取ったら、こんなフレーズが目飛び込んできました。どんな時に「幸せ」（happiness）を感じるかは、もちろん人によりますが、先生方が教えることに幸せを感じ、それで子供たちが幸せになるのなら、それは「幸せ」な学校といえるのではないのでしょうか。

4月1日の職員会議で先生方にお示した「ポストSGH構想」は、突き詰めて考えると、どうすれば先生方や生徒たちにとって「幸せ」な学校をつくることができるか、であるような気がします。始業式では、生徒に「うれしい」を3回言ってもらいましたが、「うれしい」は英語でhappy。「うれしい」（happy）とすることが「幸せ」（happiness）につながるとしたら、先生方や生徒が、本校で教え学ぶことで「うれしい」と思える教育内容（授業、特色ある教育活動、学習指導、生徒指導等）を考えませんか？

そのために、もっとこうすれば、先生方や生徒の「幸せ」度が高まる、これがうまくいっていないので「幸せ」度が低い、といった先生方の思いを聞かせてください。今年度異動して来られた先生方は、ご自身の経験やこうしてほしいという理想でもかまいません。

そうした思いをもとに、「ポストSGH構想」を作っていきたいと思います。構想（案）を策定するために「プロジェクトチーム」を編成しますが、先生方一人一人の思いをチームのメンバーに託す、という意味でも、ご協力ください。

様式はとくにありません。手書きでもパソコンでもかまいません。今週中に（4月17日まで）、校長室まで、書いたものを下記の時間帯を目安に、好きな時に持ってきてください。短時間でも、直接、先生方の思いを聞かせていただければと思っています。先生方には、だれが書いたかは伏せるなどして、まとめてお示し、共有します。ただし、もう一度パソコンで打ち直すのは二度手間が無駄なので、提出していただいたものをそのまま印刷します。

→校長室にいる主な時間帯は以下の通りです。

13日（月）午前、14（火）午前、15（水）午前、16日（木）終日、
17日（金）終日